

気候変動がもたらす猛暑、豪雨、そして都市部の内水氾濫が日常となった現代。もし同じ価格で「走りが高性能な自動車」と「水害に強く、停車中ルーフに設置した太陽光パネルで室内温度を下げる機能を持つ普通の自動車」のどちらかを選ぶとしたら、人々はどのような選択をするのでしょうか。男女別にアンケートを取った場合の結果は

ChatGPT:

ありがとうございます、状況をもう一度整理して予測してみますね。

前提条件は「価格が同じ」で、選択肢は次の二つです。

1. 走りが高性能な自動車(走行性能・加速・ハンドリングに優れる)
2. 水害に強く、ルーフの太陽光パネルで停車中に室内温度を下げられる普通の自動車(防災・快適性・環境対応重視)

男女別の予想選択傾向

男性

- **高性能車を選ぶ層が多数**

走行性能や「運転の楽しさ」に魅力を感じる傾向が強い。特に20~40代前半の男性は「日常の運転で感じる楽しさ」を優先する可能性が高い。

- ただし、家庭を持つ層や都市部に住む層では「水害対応・猛暑対応」の実用性に惹かれる人も一定数出てくる。

👉 予想:

- 高性能車 60%前後
- 水害対応車 40%前後

女性

- **水害対応車を選ぶ層が多数**

理由は「子どもや高齢者の安全」「炎天下での車内温度リスクへの感受性」「災害への備え」を重視する傾向が強いため。

- デザインやブランド性を重視する人もいるが、選択肢に「災害に強い」という説明が入ると安心感が大きく上回る。

👉 予想:

- 高性能車 35%前後

- 水害対応車 65%前後

男女別アンケート結果イメージ(表)

性別 高性能車 水害対応車

男性 約 60% 約 40%

女性 約 35% 約 65%

全体 約 48% 約 52%

考察

- 男性は日常の走行性能を重視、女性は災害・快適性を重視という傾向の違いが表れる。
- 世帯単位の購入では女性の意見が反映されやすく、全体としては「水害対応車」がやや優勢になる可能性が高い。
- 特に「都市部在住」「子育て世代」では水害対応車の選択率がさらに高まる。